

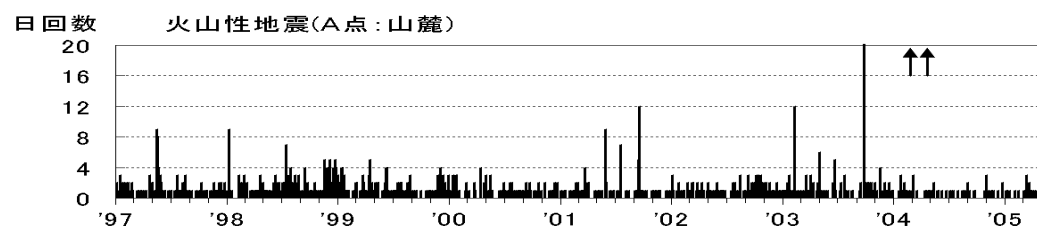
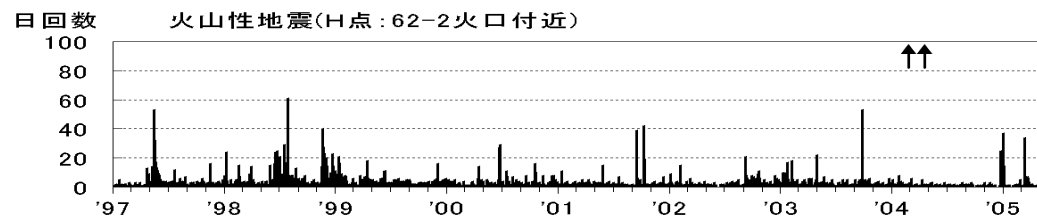
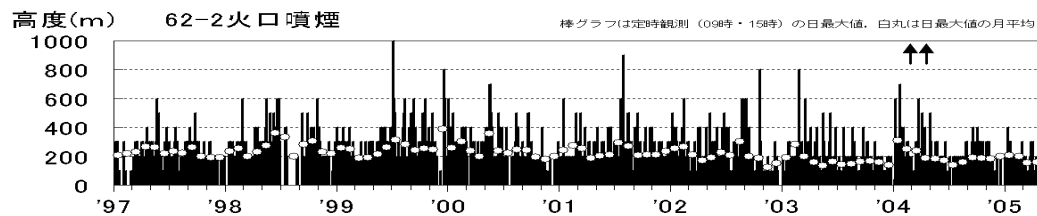
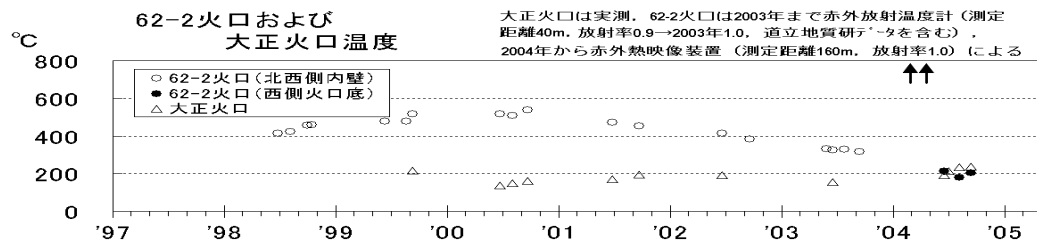
十勝岳

1 概況

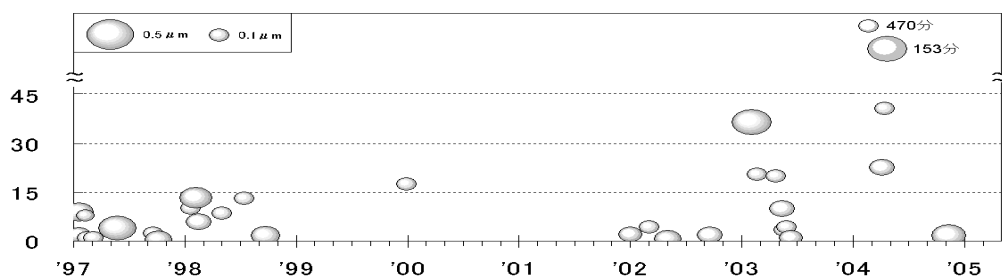
62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

2 噴煙の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。噴煙は白色で高さは火口縁上おおむね 200 m で経過しました。



継続時間(分) 火山性微動(H点：62-2火口付近)



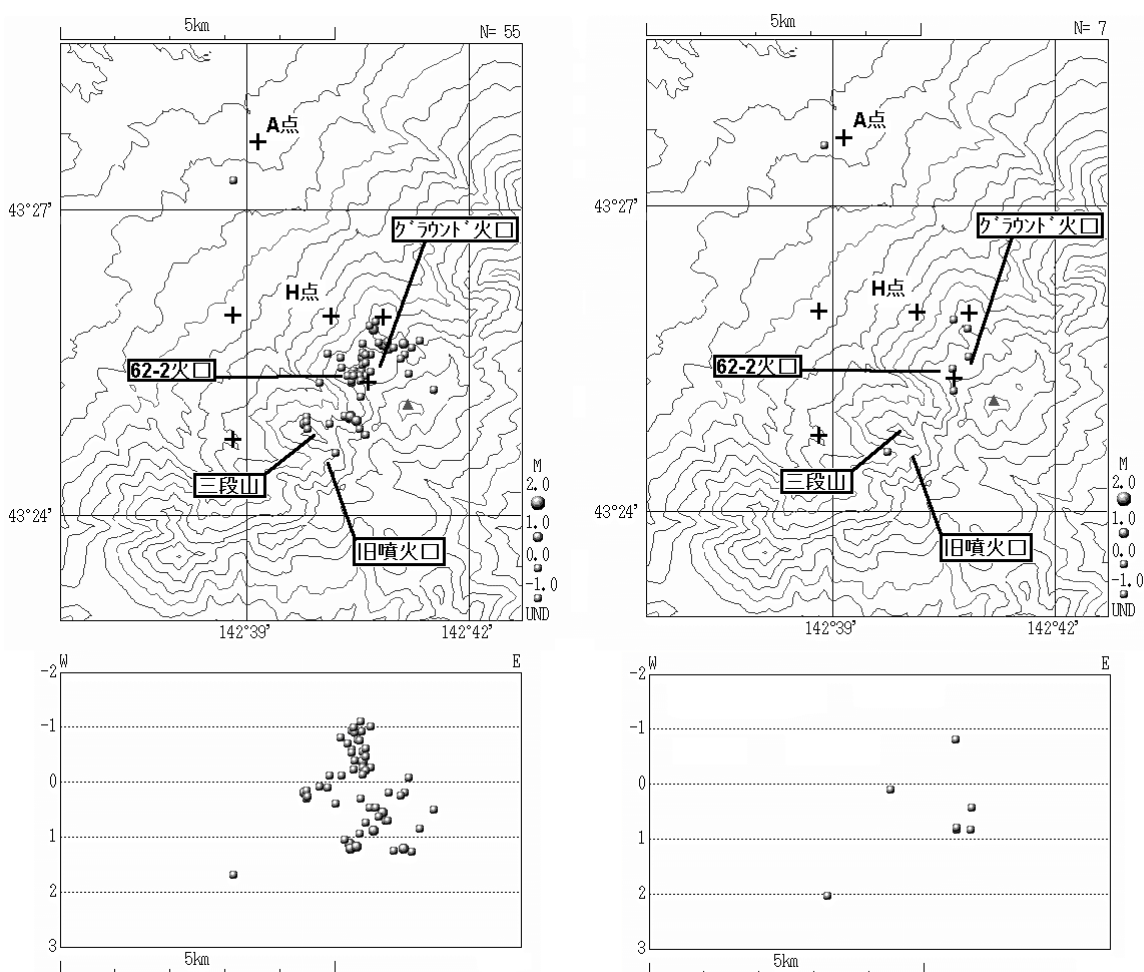
最近の火山活動経過図（1997 年 1 月 1 日～2005 年 4 月 30 日） ↑印はごく小規模な噴火

3 地震および微動の発生状況

今期間の火山性地震の回数は 1 日あたり 0～2 回と少なく、静穏に経過しました。火山性微動は 2004 年 11 月 17 日以降観測されていません。

地震・微動の月回数（H点：火口付近の観測点 A点：山麓の観測点）

2004～2005 年	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
地震回数H点	26	12	13	19	16	11	20	30	60	20	86	14
地震回数A点	7	2	4	6	3	3	7	4	4	2	11	4
微動回数H点	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0



十勝岳の震源分布図（丸印：震源、＋印：地震観測点）

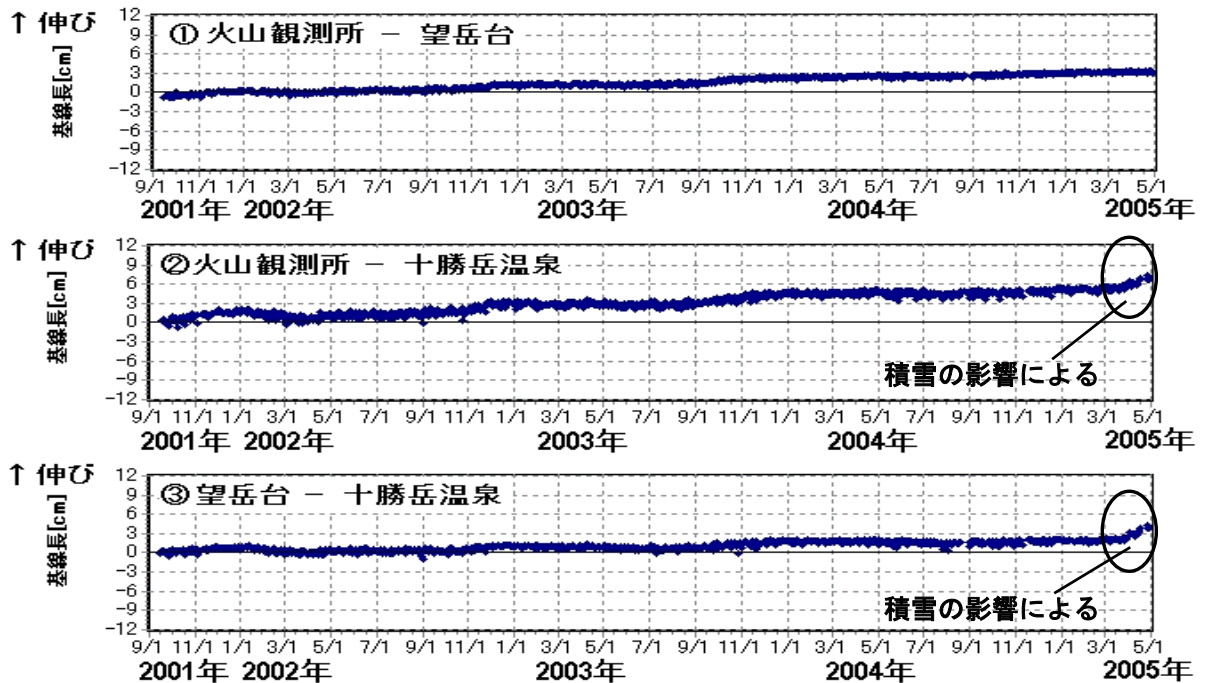
右図は今期間（2005 年 4 月 1 日～30 日）に求まった震源を示しています。

左図は前期間までの 11 ヶ月間（2004 年 5 月 1 日～2005 年 3 月 31 日）に求まった震源を示しています。

震源はグラウンド火口周辺と三段山～旧噴火口周辺の浅部（海面上 1km～海面下 1km 程度）に集中しており、今期間の震源もこれらの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

西麓での GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。3 月末から、十勝岳温泉観測点を含む基線で伸びの傾向を示す変動が認められていますが、積雪による一方向への加重で生じた局所的な変動によるものと考えられます。



基線長変化（2001 年 9 月 13 日～2005 年 4 月 30 日）

